情報セキュリティーの三要素とは

情報セキュリティーは3つの大きな要素で構成されています。「情報の機密性」は、権利を持つ人だけが情報へのアクセスや情報の利用が可能な状態にあることです。また情報の完全性は情報が破損したり改ざんされたりせず完全な状態にあることです。加えて情報の可用性という、情報を必要な時に取り出し利用できる状態にあることがあります。これらの三要素は情報セキュリティーを知る上で欠かせないもので、常に意識をしておく必要があります。

情報セキュリティーマネジメントの必要性

コンピューターによる大量・迅速な情報処理に伴う要因としては、日常で多くの情報が収集され、コンピューターなどの情報機器の中に大量に蓄積される機会が増加していることが挙げられます。また、蓄積された情報が、本来の目的外で使用されるという事態が発生しています。

情報の利用に伴う要因としては、不正確な内容の情報が利用されるという問題が発生していることが挙げられます。また、大量の情報が不正に漏洩したり、改ざん・悪用されたりするという危険性も増大しています。さらに、不十分なセキュリティーが原因で、コンピューターウイルスに感染する事例も頻発しています。